

先日、家族に「最近、話しかけても返事がない」と言われ、少々耳の聞こえが悪くなったのではないかと気になり始めています。早口でしゃべる孫娘の言葉は特に聞き取りにくく、この間などは何度も聞き返して嫌な顔をされてしまいました。また、道を歩いていてと振り向くと、急に車が間近に迫っていて驚くこともあります。そろそろ補聴器をつけた方がよいのでしょうか？

耳が聞こえにくい

1 年齢とともに衰えてくる聴力

一般的に、人間の身体機能は25歳を過ぎると多かれ少なかれ老化現象が始まり、それに伴って高齢になればなるほど耳の聞こえも悪くなりがちです。このように老化現象が進んで聴力が落ちていき、耳が聞こえにくくなる状態を「老

人性難聴」といいます。もちろん個人差は大きく、40代から聞こえの悪くなる人もいれば、80歳を過ぎてても日常生活にさほど不自由はないという人までさまざまです。また耳がよく聞こえなくなった人が、必ず老人性難聴になったかというとは決してそうでもありません。中には耳垢が詰まっていたり、



笠井耳鼻咽喉科クリニック・自由が丘診療室
笠井 創 先生

かさい はじめ 昭和52年千葉大学医学部卒。同年耳鼻咽喉科学教室入局・大学病院手術部麻酔科研修・千葉労災病院耳鼻咽喉科研修。昭和58年 千葉大学医学部大学院卒（医学博士）。同年国保君津中央病院耳鼻咽喉科医長。昭和60年 国立がんセンター病院頭頸部外科医員。昭和63年 国家公務員等共済組合連合会/横須賀共済病院耳鼻咽喉科医長。千葉大学医学部耳鼻咽喉科非常勤講師兼任。平成11年 笠井耳鼻咽喉科クリニック・自由が丘診療室開設。
笠井耳鼻咽喉科クリニック・自由が丘診療室HP→
<http://www.linkclub.or.jp/entk/asa/index.html>

2 耳が聞こえにくくなるのはなぜ？

耳の器官に異常があったり、浸出性中耳炎という病気を起こしているたりして、耳が聞こえにくくなっているケースもあります。耳の治療をすることで、聞こえがよくなる場合もありますので、老人イコール老人性難聴と決めつけない方がよいと言えます。ご質問の方も、まずは耳鼻科にかかって検査を受け、普段に比べてどの程度耳の聞こえが悪くなっているのか、耳に病気を起こしていないかどうかなどを、きちんと調べてもらった方がよいでしょう。

耳が聞こえにくくなる原因

- 耳の詰まり 耳垢塞栓
- 耳の中の炎症 浸出性中耳炎
外耳道炎
- 耳管の機能障害 耳管狭窄症
耳管開放症
- 老化現象 老人性難聴

難聴は、内耳にある「蝸牛」というカタツムリのような形をした器官に、トラブルが発生して引き起こされることがわかっています。次の4つが、トラブルの主な原因です。
①蝸牛の働きが鈍って音が電気信号に変換されないため、情報が脳まで届かない。②神経が障害されて脳に音の信号が伝わらない。